

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	職員により考えが異なり、調理のお手伝いが実施できない状況もあった。	毎食時利用者様と一緒に料理をする。	材料の皮むき、材料切り、味付け、盛り付け、配膳、下膳、食器洗い等、一連の流れを家族の一員として共に協力し合って実施する。材料集めにも同行してもらう(時には畑の収穫も行う)	3ヶ月
2	45	時間を決めて入浴を実施していたので、急遽入浴希望が出た場合に、対応できない時があった。	入浴が好きな時にできる。	職員配置に余裕をもたせ、役割分担も配慮していく。優先順位を考えての対応によりすぐに入浴できない時には、理由を分かりやすく話し、時間をずらして入ってもらうようにする。重度の利用者様であっても浴槽に入ってもらえるよう、今後も介護技術の伝達を続けていく。	3ヶ月
3	11	毎月一回職員会議を開催しているが、パート職員にまで全員伝達できているか不明なこともある。	職員会議の内容が、全職員に伝達できる。	休憩室にいつでも回覧できるようバインダーを用意して置いておく(すべての会議内容ははさんでおく)、確認印をお願いする。詳細は口頭で伝達し、一人一人の意見を聞く。	3ヶ月
4	26	生活記録の内容が簡素化しており、計画に沿った記述を見付けることが困難である。	生活記録の中に計画に沿った記述が明確になる。	記録の研修会を行う。介護支援専門員が主体となって、計画がきちんと実施されているのか定期的に確認をする。各居室担当者も計画書の内容を理解し、記述できるよう指導する。	6ヶ月
5	33	当グループホームの利用者様も重度化しつつあり、今後看取りをしなければならない可能性もある中で、マニュアルはあっても研修がなされていない。	職員全員が看取りについて理解し、適切な対応をすることができる。	常勤看護師が半年に1回、看取りについて研修会を開催する。重度化、看取り等の利用者様については適宜カンファレンスを開催し、状態や関わりを確認し合う。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。